



府中国際交流サロン  
FUCHU INTERNATIONAL SALON

# くろするろ〜ど

がつがっぺいごう  
2019/7・8月合併号

かいほうし  
会報誌

ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロンは、府中に住む  
にほんじん 日本人と外国人が、なかよく 仲良く助け合っ  
たの 楽しく生活していくことを願って、活動を  
つづ 続けています。

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★



★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

げっかん がつ  
〜サロン月間カレンダー7・8月〜

けんしゅうほうこく  
「バス研修報告」

まかかくぶかい げつようご ごと おか きとこ  
企画部会・月曜午後ボランティア 岡 智子

## ■文化交流活動

7月6日(土) 午後1時半〜4時半  
「市民向け料理教室」30名・参加費1200円  
場所：プラッツ6階調理室  
\*申し込みは先着順

7月12日(金) 午前10時〜12時  
「ゆかた着付け教室」10名・参加費100円  
場所：サロン託児室・受付終了

7月17日(水) 午後1時半〜4時  
「盆踊り」20名(予定)・無料  
場所：サロン託児室

7・8月(毎週水曜日) 午後1時半〜4時  
「ハワイアンダンス」定員15名、無料  
場所：サロン託児室  
\*7月17日のみ盆踊り  
申し込みは事務局まで

8月24日(土) 午後2時半〜3時  
「府中よさこい祭」  
「民踊流し」で盆踊りを踊ります。  
\*詳しいことは事務局まで  
「みんなの広場」もご覧ください。

★以上の対象はサロン学習者とボランティア  
料理教室は市民も対象

## ■教授法研修会

7月2・9・16日(火) 午後2時〜4時  
講師：山田しげみ先生(東京外大非常勤講師)  
場所：サロン第2会議室  
対象：市民とボランティア(申し込み済み)

令和元年5月25日土曜日、国際交流サロンのバス研修がありました。目的地は、檜原都民の森です。檜原村は、東京都の西端にあります。島を除く東京都唯一の「村」です。学習者とその家族・友人21名、ボランティア18名、市から1名、総勢40名の参加でした。当日は、朝から日差しが眩しく絶好のハイキング日和でした。

まず、バス車内では自己紹介と好きな食べ物・嫌いな食べ物の発表をしました。車内が和やかに盛り上がりながら目的地へ進みます。窓から見える新緑が目にも涼しく、紫色の桐の花がとても綺麗でした。途中、「人里」と書いて「へんぼり」と読む地区を通りました。珍しい読み方ですね。私はこの読み方を何回聞いてもすぐに忘れてしまいます。先輩ボランティアさんから、「変な読み方の里だから、『へんぼり』と覚えると良いですよ。」と教えて頂きました。

檜原都民の森は、都内でありながらも美しい山々に囲まれた自然豊かな森です。標高は約1050メートルで、高尾山(599メートル)よりずっと高いですね。

森林館から三頭大滝へ向かいました。山道にはウッドチップが敷き詰められていて、足に優しいです。川のせせらぎも聞こえて、自然の癒しの方でリラックスしながら会話が弾みました。山野草には名札がついていて、植物に興味を持った参加者も多かったようです。道中にドクダミの花が咲いていましたが、ベトナムでは食用ハーブの代表格にドクダミがある

そうです。

木材工芸センターでは、木工製作をしました。キーホルダーを作るグループ、好きなものを作るグループに分かれました。私はハートのキーホルダーを作りました。他の方は巣箱やティッシュケース、椅子、と色々な作品を作っていました。出来上がった小さな椅子に、可愛い女の子が座りました。微笑ましい風景でした。

旅の思い出に、私はもう一度皆さんの木工作品が見たいと思っています。写真でも良いので、ぜひ今度見せて下さいね。

皆さん無事でケガもなく、旅を終えることができました。感謝致します。ありがとうございました。



バス研修に参加したみなさん。檜原村都民の森入口にて

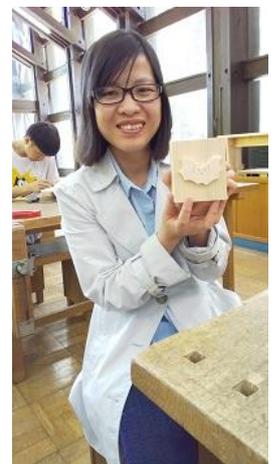


# 世界の文化

## 「バス研修会・東京都檜原都民の森」

グエン ティ ホン タム(ベトナム)

この日、日本は夏だった。春の涼しい空気かわりに暑い空気になっていきました。5月25日(土曜日)府中国際交流サロンのボランティアの方と学習者の家族が40人一緒に東京都檜原都民の森へ行きました。府中国立インターから都民の森まで2時間ぐらいかかります。バスを降りると目の前に山々に囲まれたところを見ました。ここには自然の新鮮な空気を感じられる魅力の一つです。都民の森には、「大滝の路」があります。「大滝の路」は木のくずが敷かれて歩きやすいです。ロードの周囲は低木とたくさん硬い木がありました。当日は晴れすぎだけど広がる枝の下に木の香りや大変涼しい空気を感じることができます。途中で木には小さいメモがついていました。木の名前や性質がかかれていました。大切なことは詳しく書かれています。素晴らしいです。終点には落差35mの三頭大滝があります。大滝の前に鉄で作る滝見橋がかかっており三頭大滝を間近で見ることができます。絶景のため、私はたくさん写真を撮りました。隣の滝見橋で椅子を座って休憩しました。今回皆さんと話し合いをしました。楽しかったです。時間がないので、山に登りませんでした。残念でした。森林館に引き返して行きました。ここに研修棟、展示棟にわかれていて、美しい映像や写真パネルで森の様子や森にすむ動植物を紹介されています。ここでも木工を自分で作りました。私はペン立てを組み立てて、ペン立ての前にコウモリのかざりをつけました。手作りの道具はとても面白かったです。森は季節を問わず心をいやしてくれます。そ



ペン立てを作ったタムさん

れで、もっと山に登りたかったです。森林で木の香りを嗅いだり、きれいな空気を吸ったりしたかったです。サロンの先生のおかげで当日は良い体験ができました。日本での生活は楽しくて好きになってしまいました。ありがとうございました。



## 「大自然の中で皆と知り合えた！」

ルー アン ちゅうごく  
蘆 昂(中国)

5月25日朝8時、晴れ渡った空の下で、都民の森へのバス研修の一日の旅は始まった。

今回のバス研修は学習会各部会のボランティアさんと学習者さん及び家族の方々、計40人が参加した。目的地まで遠くて時間がかかるため、皆バスに乗りながら自己紹介した。普段各部会に別々に出ているので、特に学習者さんたちはお互いに知らないが、自己紹介を通じて知り合うようになった。目的地に近ければ近いほど山道に入り、周りの広大な緑と奥深い溪谷に囲まれるようになり、車内で皆騒いだり話し合ったりして、とても和やかな雰囲気だった。

目的地に到着し、集合写真を撮った。山に入り始め、すぐ知らない草や花などがたくさん見えて、生態の多様性に驚いた。登山道に切られたヒノキの層が

撒かれることにも不思議だと思った。その後聞いたところ、そのヒノキの層はいい香りがするため、わざと切り碎いて撒いたそうだ。残念だが、だいぶ前に切ったせいか、もう香りがしていなかったようだ…。

12時ぐらい森林館に到着し、しばらく解散してご飯を食べた。うどんを食べながら東井さんからお酒を頂いて飲んで話して、楽しかった。

午後になって木工に参加する方々が木工教室に行った。僕は参加しないためあちこちぶらぶらして、つい三叉路のような場所に着き、案内図を見てその一つの道に沿ってもっと登れることが分かったが、結局集合時間に間に合わないのので登るのをやめた。

森林館に戻り、集合時間になっていなくて木工教室に皆の作品を見に行った。行った時にまだ作業中の方が多くて、皆自分の作品に集中したり時々こうするべきだ、そうするべきだって話し合ったりして、盛り上がっていた。最後、皆が作品として筆箱や歯ブラシスタンドから小さな椅子まで仕上げ、感心して仕方なかった。

いつの間にか夕日が出て下山し始めた。下山途中、自分が作った木工作品を見たり笑ったり話したりして、皆楽しくて満足した顔を見せていた。

帰りのバスで橋本さん、戸邊さんと話し、お二人の木工作品を見せてもらった。橋本さんは犬だが、戸邊さんはなんとカメレオンだ。ただし、とてもカメレオンに見えないが…。

笑い声に伴ってバス研修は終わった。大自然を満喫しただけではなく、参加者同士間の交流も深めて、ずいぶん充実した一日だった。



高山植物を観察する蘆昂さん(右端)

# 「バッグを落として大あわて」

わたし  
私のふるさと ~15~

りゅう かん ちゅうごく  
劉 歆 (中国)

## 「つたえよう しきおりおりの まち、つしま」

きんようよる きとむら めぐみ  
金曜夜ボランティア 里村 恵

6月7日金曜日。自転車で乗って国際交流サロンに行く途中でうっかりしてバッグを落としてしまいました。気がついたのは、サロンに到着してからでした。

友達の携帯をかりて自分の携帯にかけましたけれど連絡を取れませんでした。道を戻ってもう一度探しましたがみつめることができませんでした。

もうさがせないかと希望をなくしましたが、大國魂神社の前の交番に行きかけてみました。交番でバッグを落とした時間帯と、自転車で走ったコースを聞かれました。もっと詳しいことを聞かれた後、ある人が私のバッグを持ってきました。

バッグは競馬場前で落としたらしく、競馬場の係員に拾われました。その人と警察に感謝しました。やっと私のバッグが見つかりました。

はずかしいですが、私の経験を皆さんにお伝えします。バッグをなくした時の参考にしてください。



私は、「故郷はどこですか？」の問いにはいつも名古屋から7km西にある愛知県津島市と答える事になっています。市名だけでは10人中9人は知らないから、又は対馬と間違われるからです。

知名度は低いのですが当市は500年程前には織田信長の台所を支える経済の要を担う湊町として栄え尾張一の商業都市と呼ばれるほどでした。今でも商いを営む小、中学時代の同級生が多くいます。

時は移り明治以降は紡績業が栄え子どもの頃よく耳にした「ガチャマン」という言葉の意味はガチャンと織れば方のお金が入る、の意味だったのです。昭和30~40年代には貴重な労働力として集団就職の10代半ばの女工さんたちが多くやってきました。故郷を遠く離れた彼女たちが求めるのは親代わりの話し相手。味噌、溜りを主とした食料品店を営む私の両親の元には、彼女たちが客としてだけではなく時々おり相談事を持って来る事もありました。

私たちの一年の最大行事は7月第4土日に宵祭と朝祭として繰り広げられる「尾張津島天王祭」です。これは宮島の厳島神社の管弦祭、大和川のみ興渡御で有名な大阪の住吉祭と並び日本の三大川祭の一つに指定され、また1981年に国重要無形民俗文化財指定、2016年にユネスコ無形文化遺産に登録されています。信長を始め秀吉、歴代の尾張藩主も愛でたというこの祭の起源は津島神社に奉られた疫病厄難除けと授福の神、建速須佐之男命(たけはやすさのおのみこと)の祭祀にあり、また開催場所は木曾川の支流、天王川やそれにつながる巨大な楕円形の池を擁する天王川公園にて執り行われます。

土曜日夜の宵祭は屋形船の中央に高く柱を立て上に一年の月数、その下に年日数分の約500個の提灯(写真参照)をかかげた五艘のまきわら船が津島楽を奏でながら丸池に漕ぎ出ます。灯りが川面に映るさ

# 皆さんよろしく◇学習者紹介

デニス イルシェンコフさん(ロシア)



「日本が大好きです」

2018年9月ロシアのセントペテルスブルグから東京外国語大学修士課程で勉強する為に来日しました。

セントペテルスブルグ大学では「社会人類学」を勉強していて、卒業前に4か月上智大学で勉強しました。その時日本が好きになり、東京外国語大学で勉強していた友人に校内を案内してもらったり、話を聞いたりしました。

文科省の奨学金ももらえることになり2018年10月より「平和と紛争の研究」をテーマに勉強をしています。

趣味はスイミング、テニス、旅行。日本では京都、箱根、長野に行きました。長野は友人の親戚の家で、日本のお正月を経験させてもらいました。

京都では中にクリームの入ったメロンパンを食べ、とてもおいしかったというデニスさんですが、あずきが嫌いであずきから出来ているあんこは食べられないと言っています。

東京では新宿が好きだとのこと。新宿にはいろいろな要素があって街の中でいろいろな雰囲気を感じ、とても居心地の良い街だと感じているそうです。

性格はとてもフレンドリーですが、寝不足だとイライラすることもありますが。

将来は友達がたくさん出来る仕事をしたいそうです。明るい好青年ですからたくさん友達ができるでしょう。  
(堤 林)

まはまさに幽玄の極みと言えます。明けて朝祭は夜中の内に様変わりした先頭にもう一艘が加わり、六艘の船の屋台にまるで王朝絵巻さながらに等身大の能人形を飾り古楽を奏でながらやはり丸池に漕ぎ出ます。池の中央付近から十人の鉾持ち(未婚の男子)が布鉾を背負い池の端のお旅所まで泳ぎ神社まで走り抜け神前に布鉾を奉納します。

我が家はこれらの船が出る河戸の真ん前にありましたので祭は大切な客人の接待など家族の催事にもよく使っていました。余談ですが私を含め我が姉弟はすべて祭に招待した相手と結婚しました。

また天王川公園は春は桜並木に囲まれGWには藤まつりが開催され初夏には美しい睡蓮が池を埋め尽くしそして秋には赤白の彼岸花が咲き誇り一年を通じて楽しめる地となっています。この歴史ある美しい津島市に皆さまも是非一度訪れてみてください。



おわりつしまてんのうまつり よいまつり こうけい  
尾張津島天王祭の宵祭の光景



おわりつしまてんのうまつり あさまつり こうけい  
尾張津島天王祭の朝祭の光景

べん きょう かい ほう こく  
**勉強会報告** ~95~

おんせいこうしゅうかいきそへん  
**「音声講習会基礎編」**  
 いちどおんせい ふくしゅう  
 ~ もう一度音声を復習しよう ~

けんしゅうぶかい げつようごご さとうえいこ  
 研修部会・月曜午後ボランティア 佐藤英子

がつようか ど わせだいがくひじょうきんこうし なかむらのりこせん  
 6月8日(土)、早稲田大学非常勤講師の中村則子先生に日本語音声の基礎を学びました。参加者は学習者2名を含む計21名。最初に「母音」と「子音」の違いを確認しました。

「母音」…口の中で邪魔されずに出せる音。あいうえお。

「子音」…舌、唇で口の中に何らかの邪魔を作って出す音。ぱびふべぼ等。

母音を正しく発音することはとても大切で、特に「う」には注意、英語等とは違って日本語の「う」は唇を丸めて突き出さないということを学習者が習得すれば、発音のほぼ半分は通ってしまうと言えそうです。

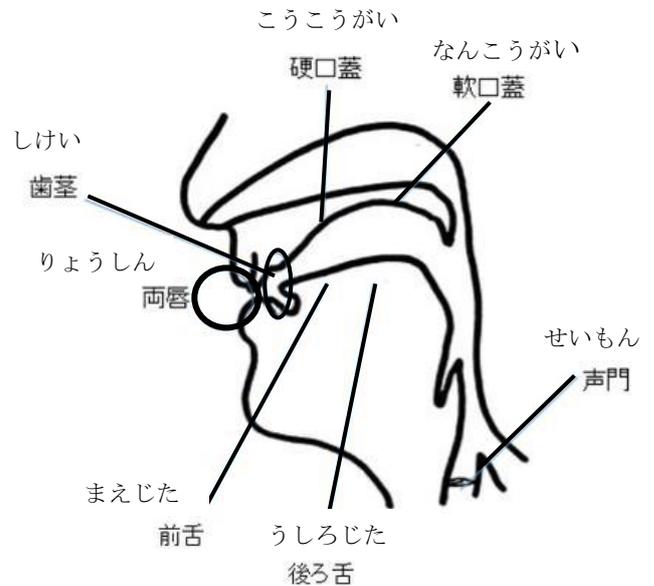
その他の母音では、例えばアラビア語話者には「イ・エ」「ウ・オ」の区別を、顎に手をあてその上げ下げを確認しながら発音させる、モンゴル人には両耳の下を手で持ち上げて「イ」をはっきり発音する練習を、反対にフランス人には「イ」を抑えさせると効果的と、ユニークな方法を教えていただきました。

子音については調音点(発声に際して空気を妨げる場所)・調音法(どのように妨げて音を作るかの方法)の表と口蓋図を用いて、発声時の唇や舌の位置・動きを確認していきました。例えばサ行ではサスセソは舌を歯茎におくが、シ音だけはもう少し後方の歯茎硬口蓋(右図参照・硬口蓋の左側)で発音します。サ行全体は調音法では摩擦音ですが、調音点から見るとシ音だけ異なっているのです。他の行も同様で、同一の行であっても変化があります。これらを押さえておくと外国人学習者に50音を発音してもらう時に適切な指導ができるということです。

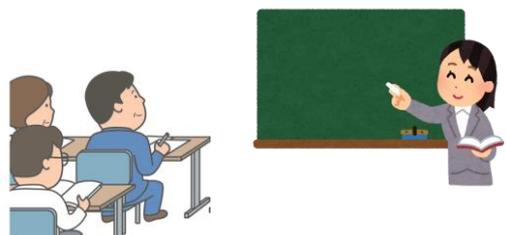
「専門用語も出てきて少し難しかったが、音声を科学的にとらえることが出来た」「今まで発音のことはあまり意識しなかったがもっと知りたい」等、受講者からたくさんの意見が寄せられました。

もっと上手に日本語を話したいという外国人が増えている今、教える側もレベルアップが求められています。

次回は、11月9日(土)に音声実践編があるので、引き続き参加して学習したいと強く思いました。



おんせいきかんず  
**音声器官図**



まご いしやう  
「馬子にも衣裳？」

きんようよる わだ やすひろ  
金曜夜ボランティア 和田泰弘

カンヌ映画祭が5月に幕を閉じ、8月末に始まるベネチア映画祭を控えるこの時期になると、過去それぞれに出品された作品のいくつかに宣伝の仕事で携わったことが懐かしく思い出されます。カンヌの最高賞は「パルムドール（黄金の棕櫚）」、ベネチアのそれは「金獅子賞（Leone d'Oro）」、ちなみに三大映画祭のもう一つのベルリン映画祭（2月開催）のそれは「金熊賞（Goldener Bar）」と呼ばれ、いずれも「金」を最高の象徴にしています。「金」の代表格はオリンピックですが、やはりその輝きはひと際なのでしょか。

2007年のカンヌ映画祭において河瀬直美監督は『殞の森』で「パルムドール」に次ぐ「グランプリ」を受賞しましたが、その4年前、『沙羅双樹』を正式コンペティションに出品しています。その時、宣伝を担当し監督と同行してカンヌへ入り現地での取材対応に奔走しました。ジャーナリストの下馬評は高かったのですが入賞は逃し、日本国内での公開時には、「金」に代わる表現のあの手この手を編み出すことに追われました。

日本の映画界では、作品評価を高めるために「傑作」「秀作」「佳作」「珠玉作」「感動作」などの表現が常套手段となっていますが、果ては、「問題作」「衝撃作」などのハッター、内容が覚束ない時の「異色作」、つまるところこれしかないという「畢竟作」まであります。結局『沙羅双樹』では、「カンヌ映画祭正式出品作品」というブランドに加え、「河瀬ワールドの最高傑作！」というコピーを使いました。

映画を宣伝していると一作一作に愛着が湧き、それは子に綺麗な衣装を着せて人の目に触れさせたいという親の思いに通ずるものがあり、ついつい美辞麗句で飾りたくなるのです。

こくさい かい  
「国際ふれあい会」

はっぴようしや てつだ ぼしゆう  
～発表者と、そのお手伝いの募集～

サロンの学習者に、「母国や故郷の話」「日本の感想」などを発表していただきます。そして、府中の市民やボランティアの方々と語り合い、相互理解を深める会にしたいと考えています。つきましては、発表するサロンの学習者と、その発表者をお手伝いするボランティアを募集します。

にちじ がついつか ど ごご じ じ  
日時：10月5日（土）午後2時～4時

ばしょ プラッツ5階、第5会議室

はっぴようしや こくさいこうりゆう がくしゅうしや ふたくみ  
発表者：国際交流サロンの学習者（2組）

はっぴようじかん ふん ぶん  
発表時間：15分～20分（パワーポイント可）

し き がつようか げつ  
締め切り：7月8日（月）

はっぴようないよう れい  
発表内容の例

- \* 生まれ育った地域（地方）の話
- \* 国・地域の有名な食べ物や特色
- \* 日本に来て驚いたこと
- \* 日本に来た理由
- \* 国・地域の踊りやダンス、歌、昔話 など  
(企画部会)



## 「よさこい祭 民踊流し への参加」

## ～編集後記～

けやきフェスタ 2019「よさこい in 府中」が2019年8月24日(土)、25日(日)に開催されます。テーマは「キミが踊れば 世界が変わる」です。これに合わせて行われる「民踊流し」(8月24日)にサロンの学習者やボランティアも参加します。

参加ご希望の方はサロン事務局までお申し込みください。踊りは盆踊りになります。詳しいことは、サロン事務局までお問い合わせください。

(文化交流部会)

「くろすろ〜ど」でみなさんの国を紹介しませんか。短い文、ひらがなの文でも大丈夫です。日本の生活でおもしろかったことや、大切な人へのメッセージなど、自由に書いてください。「くろすろ〜ど」に載った文と写真を見て、母国の家族がよろこんだというお話を聞いています。

ボランティアのみなさんは、サロンイベントの感想やおすすめの場所を教えてください。そしてこのひと夏を過ごしてよみがえった淡い恋の思い出も、9月にお待ちしています。

(岩城)

## 「夏休みのサロン利用ご案内」

今学期の日本語学習会は、7月19日(金)で終わります。新学期は、9月2日(月)からはじまります。

サロンは、7月20日(土)から9月1日(日)まで夏休みになりますが、その間以下の日程で自由に学習ができます。ぜひご利用ください。

日程：7月22日(月)～8月30日(金)の間の月・水・金曜日(祝日を除く)

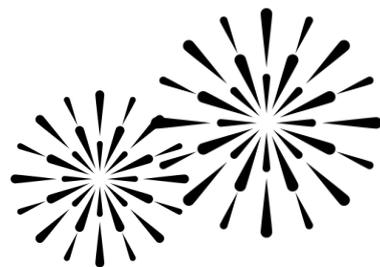
時間：午前10時～午後4時

場所：第1会議室(サロン事務局の隣の部屋)

\*学習を希望する方は、学習日と時間をサロン事務局に申し込んでください。

また、サロン事務局は、夏休みの間、月曜から金曜までの毎日、午前10時から午後4時まで開いています。

(編集部)



【編集】編集長：和田泰弘

会報部会：堤林、和田、岩城、末田

【事務局】電話：042-352-4178

E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>